

重点目標 3 性と生殖の健康と権利の確保及び生涯を通じた健康支援

■数値目標の現状値

【目標⑥】 市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数

●現状値

年度	H29	H33 目標値
開催数	77 回	毎年 80 回以上

●現状値の説明

- ・平成 28 年度中に市が実施したエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座の開催数です。

■成果指標の現状値

【指標 G】 中学生の性に関する相談の充実度

▶指標の定義

＝性についての悩みを相談できる大人を身近に持つ中学生の割合

●平成 29 年度現状値

全体	男性	女性
59.5%	51.3%	68.2%

●平成 29 年度現状値の説明

- ・平成 29 年 9 月に、全ての市立中学校において 2 年生の 1 クラスの生徒(計 1,179 名)を対象にアンケート調査を実施。

【指標 H】 健康診査（健診）の受診率

▶指標の定義

＝過去 1 年間に健康診査（健診）を受診した人の割合

●平成 29 年度現状値

全体	男性	女性
83.3%	89.0%	79.6%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年9月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民1,000人を対象にアンケート調査を実施。(回収数375人)

【指標1】 「LGBT」という言葉の認知度

▶指標の定義

= 「LGBT」という言葉の意味を知っている人の割合

※「LGBT」とは、レズビアン（女性同性愛者）、ゲイ（男性同性愛者）、バイセクシュアル（両性愛者）、トランスジェンダー（身体の性（生物学的性）と心の性（性自認）が一致していない人）の頭文字をとった総称です。身体の性と心の性が一致しており、異性を好きになるタイプにあてはまらない、いわゆるセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）を表す言葉のこと。

●平成29年度現状値

全体	男性	女性
38.1%	33.8%	42.3%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年9月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民1,000人を対象にアンケート調査を実施。(回収数375人)
- ・参考までに、「言葉ぐらいは知っている」と答えた人の割合は36.2%です。

重点目標 4 固定的な性別役割分担の解消

■数値目標の現状値

【目標⑦】 市の実施する固定的な性別役割分担意識を解消するための啓発講座の受講者数

●現状値

年度	H29	H33 目標値
受講者数	7,967 人	毎年 6,000 人以上

●現状値の説明

- ・平成 28 年度中に市が実施した固定的な性別役割分担意識を解消するための啓発講座の受講者総数です。
- ・「さんかくウィーク」の行事として開催される啓発講座の受講者数を含みます。

■成果指標の現状値

【指標 J】 固定的な性別役割分担意識の解消度

▶指標の定義

＝「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合

●平成 29 年度現状値

全体	男性	女性
68.9%	68.8%	69.0%

●平成 29 年度現状値の説明

- ・平成 29 年 9 月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民 1,000 人を対象にアンケート調査を実施。(回収数 375 人)
- ・「男は外で働くもの、女は家庭を守るものだ」という考え方について「そう思わない」(45.4%)又は「どちらかといえばそう思わない」(23.5%)と答えた人の割合です。男女別に見ると、「そう思わない」(男性 42.4%、女性 47.7%)、「どちらかといえばそう思わない」(男性 26.4%、女性 21.3%)です。

【指標 K】 男性の家事、子育て分担割合

▶指標の定義

＝男性が担っている家事、子育ての割合

●平成29年度現状値

	全体	男性	女性
家事	25.1%	29.8%	21.8%
子育て	28.7%	28.4%	29.4%

参考：男性の子育て分担割合（年代別）

20 歳代	30 歳代	40 歳代
34.3%	34.8%	33.7%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年9月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民1,000人を対象にアンケート調査を実施。（回収数375人）
- ・家庭で男性が担当している家事（炊事、掃除、洗濯、買い物、家事雑事）の割合について、0%から100%までの間の10%刻みの数字のうちで最も近い数字を答えてもらいました。
- ・割合別の内訳は、0割（9.1%）、1割（29.0%）、2割（20.8%）、3割（20.2%）、4割（5.4%）、5割（8.2%）、6割（1.6%）、7割（1.3%）、8割（1.9%）、9割（0.9%）、10割（1.6%）となっています。ただし、女性のみ、または男性のみの家庭は除いています。
- ・子どものいる家庭で男性が担当している子育ての割合について、0%から100%までの間の10%刻みの数字のうちで最も近い数字を答えてもらいました。
- ・割合別の内訳は、0割（9.3%）、1割（17.1%）、2割（21.4%）、3割（20.7%）、4割（12.9%）、5割（12.9%）、6割（0.7%）、7割（0.7%）、8割（1.4%）、9割（0%）、10割（2.9%）となっています。ただし、子どもがいない家庭、あるいは女性のみ、または男性のみの家庭は除いています。

【指標L】 事業者における固定的な性別役割分担の解消度

▶指標の定義

＝来客があった際に、男性社員も女性社員もお茶を出す事業者の割合

●平成29年度現状値

38.6%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年10月に公正採用選考人権啓発推進員研修に参加した563事業所にアンケート調査を実施。（回収数228事業所）

重点目標 5 国際的な取組についての理解及び協調、連携

■数値目標の現状値

【目標⑧】 市の実施する世界の動きや国際的な取組についての講座・研修の受講者数

●現状値

年度	H29	H33 目標値
受講者数	878 人	毎年 300 人以上

●現状値の説明

- 平成 28 年度中に市が実施した世界の動きや国際的な取組についての講座・研修の受講者総数です。

■成果指標の現状値

【指標 M】 「ジェンダー」という言葉の認知度

▶指標の定義

＝「ジェンダー」という言葉の意味を知っている人の割合

※ジェンダーは、国連などの国際会議でも使われ、世界的にも広く認められている言葉。生物学的性別（セックス／sex）に対して、社会通念や慣習の中には、社会によって作り上げられた「女性像」「男性像」があり、このような女性、男性の別のこと。

●平成 29 年度現状値

全体	男性	女性
21.9%	20.8%	23.1%

●平成 29 年度現状値の説明

- 平成 29 年 9 月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民 1,000 人を対象にアンケート調査を実施。（回収数 375 人）
- 参考までに、「言葉ぐらいは知っている」と答えた人の割合は 38.4%です。

【指標 N】 岡山市に住み続けたい外国人の割合

▶指標の定義

＝これからも岡山市に住み続けたいと思う外国人の割合

●平成29年度現状値

72.9%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年9月に、住民票から無作為抽出した外国人市民400人を対象にアンケート調査を実施。(回収数61人)
- ・岡山市に「住みたい」または「できれば住みたい」と答えた人の割合です。

重点目標6 市と市民等とのパートナーシップによる協働

■数値目標の現状値

【目標⑨】 「さんかくウイーク」への参加者数

●現状値

年度	H29	H33 目標値
参加者数	4,782 人	毎年 3,000 人以上

●現状値の説明

- ・さんかくウイーク 2016（平成 28 年度岡山市男女共同参画推進週間）中の行事への参加者総数です。

【目標⑩】 「さんかくウイーク」への「さんかく岡山」登録団体の参加率

●現状値

年度	H29	H33 目標値
参加率	38.9%	50%

●現状値の説明

- ・「さんかく岡山」の登録団体(54 団体)のうちで、さんかくウイーク 2016 において、その実行委員会メンバー又はイベントの主催者等として参加した団体の割合です。

■成果指標の現状値

【指標〇】 「さんかくウイーク」の認知度

▶指標の定義

＝「さんかくウイーク」の行事へ参加したことがある、または「さんかくウイーク」を知っている人の割合
※さんかくウイークとは、岡山市男女共同参画推進週間の愛称のこと。

●平成 29 年度現状値

全体	男性	女性
25.7%	23.4%	27.4%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成28年9月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民1,000人を対象にアンケート調査を実施。(回収数375人)
- ・さんかくウイークについて、「行事に参加したことがある」または「知っているが行事に参加したことはない」と答えた人の割合です。

【指標P】 「さんかく岡山」の事業内容の認知度

▶指標の定義

＝「さんかく岡山」の事業内容を知っている人の割合

●平成29年度現状値

全体	男性	女性
43.2%	36.6%	48.6%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年9月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民1,000人を対象にアンケート調査を実施。(回収数375人)
- ・さんかく岡山で実施している事業（講演会・講座、地域への出前講座、図書の見学・貸出、映画会、相談（DV等）、会議室や展示コーナーの貸出、託児、その他）について、1つ以上知っていると感じた人の割合です。

重点目標 7 仕事と生活の調和の推進

■ 数値目標の現状値

【目標⑪】 保育所等の待機児童数

● 現状値

年度	H29	H33 目標値
待機児童数	849 人	0 人

● 現状値の説明

- ・平成 29 年 4 月 1 日現在における保育所等待機児童数です。

【目標⑫】 市の実施する男性管理職向けセミナーの受講者数

● 現状値

年度	H29	H33 目標値
受講者数	109 人	毎年 100 人以上

● 現状値の説明

- ・平成 28 年度中に市が実施した男性管理職向けセミナーの受講者総数です。

【目標⑬】 放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合

● 現状値

年度	H29	H33 目標値
入所児童の割合	99.1%	100%

● 現状値の説明

- ・平成 29 年 4 月 1 日現在における放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合です。

■ 成果指標の現状値

【指標Q】 父親の育児への積極的参加率

▶ 指標の定義

＝3歳児の父親が積極的に育児に参加している割合

●平成29年度現状値

86.8%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年8月及び9月の三歳児健診対象者992人を対象にアンケート調査を実施。(回収数578人)
- ・父親の育児について「積極的に参加していると思う」または「どちらかといえば積極的に参加していると思う」と回答した人の割合です。

【指標R】 男性の介護参加率

▶ 指標の定義

＝介護経験のある男性の割合

●平成29年度現状値

64.5%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年9月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民1,000人を対象にアンケート調査を実施。(回収数375人)
- ・現在または過去、家庭において介護が必要な人がいる(いた)と答えた人の中で、介護をしている(した)と答えた男性の割合です。
- ・参考までに、現在または過去、家庭において介護が必要な人がいる(いた)と答えた人の中で、介護をしている(した)と答えた女性の割合は83.0%です。

【指標S】 仕事と生活とのバランスの満足度

▶ 指標の定義

＝仕事と生活とのバランスがとれていると思う人の割合

●平成29年度現状値

全体	男性	女性
54.9%	48.2%	60.0%

●平成29年度現状値の説明

- 平成29年9月に、住民基本台帳から無作為抽出した市民1,000人を対象にアンケート調査を実施。(回収数375人)
- 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活(地域活動・学習・趣味・つきあい等)」等のバランスがとれているかどうかについて「よくとれている」(8.9%)又は「どちらかといえばとれている」(45.9%)と答えた人の割合です。

重点目標 8 働く場における女性の活躍推進

■数値目標の現状値

【目標⑭】 市の実施する企業における女性活躍推進の啓発講座等の受講者数

●現状値

年度	H29	H33 目標値
受講者数	370 人	毎年 300 人以上

●現状値の説明

- ・平成 28 年度中に市が実施した企業における女性活躍推進の啓発講座等の受講者総数です。

【目標⑮】 市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合

●現状値

年度	H29	H33 目標値
受講者数	60.5%	毎年 80%以上

●現状値の説明

- ・平成 28 年度中に市が実施した再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合です。

■成果指標の現状値

【指標 T】 女性管理職を増やす取組を行っている事業者の割合

▶指標の定義

＝女性管理職を増やすために具体的な取組を行っている事業者の割合

●平成 29 年度現状値

25.6%

●平成 29 年度現状値の説明

- ・平成 29 年 10 月に公正採用選考人権啓発推進員研修に参加した 563 事業所にアンケート調査を実施。(回収数 228 事業所)

重点目標 9 政策・方針の決定過程への男女共同参画の促進

■数値目標の現状値

【目標⑩】 市の審議会委員の割合

●現状値

年度	H29	H33 目標値
女性委員	41.9%	いずれの性の委員 も 40%以上
男性委員	58.1%	

●現状値の説明

- ・平成 29 年 4 月 1 日現在における市の審議会委員の割合です。
- ・対象となる審議会等は、地方自治法第 138 条の 4 第 3 項の規定に基づき市が設置した全ての附属機関〔計 62 (委員数 0 を除く)〕です。

【目標⑪】 市職員の女性管理職の割合

●現状値

年度	H29	H33 目標値
女性管理職割合	10.6%	15%

●現状値の説明

- ・平成 29 年 4 月 1 日現在において、管理職職員(教育職を除く課長相当職以上) 405 人のうちで、女性が占める割合です。

■成果指標の現状値

【指標 U】 単位町内会長の女性の割合

▶ 指標の定義

＝単位町内会長に占める女性の割合

●平成 29 年度現状値

5.7%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年4月1日現在のすべての単位町内会（1,719）における女性の単位町内会長の割合です。

【指標V】 PTA会長の女性の割合

▶指標の定義

＝市内の小学校・中学校のPTA会長に占める女性の割合

●平成29年度現状値

9.5%

●平成29年度現状値の説明

- ・平成29年度において、市立の全ての小・中学校（126校）のPTA会長のうちで、女性が占める割合です。
- ・内訳は、小学校で9.0%（8校）、中学校で10.8%（4校）となっています。